

【著者紹介】

四方幸子 SHIKATA Yukiko

キュレーター。東京造形大学特任教授、多摩美術大学客員教授、国際情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 非常勤講師。

情報環境とアートの創造的関係を横断的に研究、並行して数々の革新的な展覧会やプロジェクトをインディペンデント、キャンノン・アートラボ、森美術館、ICCほか国内外で実現。2010年より「拡張されたキュレーティング」を提唱。2012年の仕事に「PossibleWater (コモンズ)としての未来」、「メディアシティ・ソウル2012」、ウーバーモルゲン「クラフト | エネルギーの学校」、新津保建秀「風景+」がある。国内外での審査員を歴任。

竹中克行 TAKENAKA Katsuyuki

愛知県立大学外国語学部
人文地理学・都市地理学

「多言語国家スペインの社会動態を読み解く——人の移動と定着の地理学が照射する格差の多元性」ミネルヴァ書房、2009年／『スペインワイン産業の地域資源論——地理的呼称制度はワインづくりの場をいかに変えたか』ナカニシヤ出版 (共著)、2010年／『朝倉世界地理講座——大地と人間の物語 7. 地中海ヨーロッパ』朝倉書店 (編著書)、2010年

栗田秀法 KURITA Hidenori

名古屋芸術大学美術学部
西洋美術史

「ブッサンとラファエロ 借用と創造の秘密」(展覧会図録) 愛知県美術館、1999年／“Nouvelles considérations sur la rhétorique visuelle dans la peinture de Nicolas Poussin: A propos de Coriolan aux Andelys”, Histoire-Fiction-Representation, 21st Century COE Program International Conference Series (Graduate School of Letters, Nagoya University), No.8 (2007).

田路貴浩 TAJI Takahiro

京都大学大学院工学研究科
建築論・建築設計論

『イギリス風景庭園』丸善、2000年／『環境の解釈学』学芸出版、2003年／建築作品『K-Villa』、2005年

岡田昌彰 OKADA Masaaki

近畿大学理工学部社会環境工学科
景観工学・土木史・ヘリテージスタディ

「テクノスケーブ〜同化と異化の景観論」鹿島出版会、2003年／「Industrial Heritage Re-Tooled」(共著) Carnegie Publishing Ltd.、2013年／「日本の土木遺産」(共著) 講談社、2012年／「図説・日本の近代化遺産」(共著) 河出書房新社、2007年など／「世界の土木遺産」(連載) 理工図書『土木技術』、2011年7月〜連載中

茂登山清文 MOTOYAMA Kiyofumi

名古屋大学大学院情報科学研究科、教養教育院共用施設 (プロジェクトギャラリー「clas」) 運営ワーキンググループ
視覚文化 (ヴィジュアルリテラシー)、情報デザイン

『中川 運河 写真』(企画・編集)エイト、2012年／Visual Experience: Architecture and Photography, International Forum on Emerging Visuals, 2012年／『情報デザインベシクス』(共著) ユニテ、2007・2008年／『可視化の図学』(共著) マナハウス、2004・2006年

尾野訓大 ONO Kunihiro

名古屋芸術大学大学院美術研究科修了

2012年「都市を映す家」展 撞木館・名古屋／個展、名古屋大学プロジェクトギャラリー「clas」／尾野訓大・福津宣人・松永久彦「佐久島遍路展」弁天サロン内ギャラリー・愛知県／2011年「常滑フィールド・トリップ2011」／「ファンデナゴヤ2011 黒へ／黒から」名古屋市民ギャラリー矢田／2008年 個展「CREATE 素材と表現」GALLERY MOCA・名古屋

先間康博 SAKIMA Yasuhiro

名古屋大学理学研究科博士後期課程満期退学

2010年 個展「風立ちぬ」Gallery HAM・名古屋／2008年 個展「夜と林檎」Gallery HAM・名古屋／2006年「Japan Caught by Camera」上海美術館・中国／個展「林檎 ニュートンもセザンヌも僕も」Zeit Foto Salon・東京／1998年 個展「写真・そのアイデンティティ」Zeit Foto Salon・東京／1995年〜「neigh」(評論誌、共著、自費出版) ほか。

榎田珠実 HITSUDA Tamami

愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了、
英国王立芸術大学大学院 (RCA) M.A. 取得

2004年「新花論」東京都写真美術館／2008年 個展、小山登美夫ギャラリー／2010年「放課後のはらっぱ」愛知県美術館／2012年 展覧会「中川 運河 写真」名古屋都市センター／2013年 所蔵品展「自然の表現 わが山河」東京オペラシティアートギャラリー

村上誠 MURAKAMI Makoto

名古屋柳城短期大学
美術、保育空間学

1988〜2003年 プロジェクト『天地耕作 amatachi kosaku』を組織して活動。その後写真作品を発表。2006年 個展「産土」新宿ニコソロン／個展「南島」甲南大学ギャラリー・バンセ／2008年 個展「水の道」名古屋大学プロジェクトギャラリー「clas」／個展「東野」新宿ニコソロン／2009年 個展「遠海原」静岡文化芸術大学ギャラリー

高峽 GAO Xia

日本学術振興会特別研究員-PD
日中比較文学、日本近代文学

「人力車の北京—「駱駝祥子」と都市交通」、『野草』第82号、中国文芸研究会、2009年

釋七月子 SHAKU Natsuko

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程
自分史

杉田智美 SUGITA Tomomi

韓国 国立木浦大学校日語日本文学科
日本近現代文学・文化

『管理される「老い」／監視される「主婦」—1960年代、リブ以前の主婦介護—』、『介護小説の風景—高齢社会と文学』森話社、2008年／『〈遺稿集〉の力学—有島武郎編「松むし」と小説の言葉と—』、『有島武郎研究』第9号、右文書院、2006年／『黄氏鳳姿、〈台湾の少女〉を綴る—植民地台湾における綴方少女の主体性と文学場のイデオロギー—』、『JunCture: 超域的日本文化研究』第2号、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター、2010年

松澤俊二 MATSUZAWA Shunji

桃山学院大学社会学部
近現代の短歌また文化

『「旧派」の行方—大日本歌道奨励会の形成から衰退まで—』、『国語と国文学』89巻3号、2012年／『心理学から“殺し”へ—明治三十年代、『児童研究』誌上の短歌に着目して—近代短歌研究会編『〈殺し〉の短歌史』水声社、2010年／『明治天皇「御製」のポリティクス』、『日本近代文学』79号、2008年

尹芷汐 YIN Zhixi

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程
日本学術振興会特別研究員 DC1
日本近現代文学・文化論、日中比較文化

宮尾大輔 MIYAO Daisuke

オレゴン大学東アジア言語文学研究科
映画史

The Aesthetics of Shadow: Lighting and Japanese Cinema (Duke University Press, 2013)／『映画はネコである：はじめてのシネマ・スタディーズ』平凡社、2011年／*Sessue Hayakawa: Silent Cinema and Transnational Stardom* (Duke University Press, 2007)

馬場伸彦 BABA Nobuhiko

甲南女子大学文学部メディア学科
メディア文化論、写真論、近代日本文学

『ロボットの文化誌—機械をめぐる想像力』(編著) 森話社、2004年／『機械=身体ポリティーク』(共著) 青弓社、2006年／『「女子」の時代!』(編著) 青弓社、2012年

水野勝仁 MIZUNO Masanori

名古屋芸術大学デザイン学部非常勤講師
メディアアート、インターフェイス論

『あいだを移行する「↑」: エキソニモ〈断末魔ウス〉、〈↑〉におけるカーソルの諸相』、『映像学』、日本映像学会、第85号、2010年。『「薄さ」を与えられた平面: 藤幡正樹の作品における「平面」の諸相』、『JunCture: 超域的日本文化研究』、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター、第2号、2011年。『身体|複合体|四人称: ヒトとコンピュータとの関係に関する試論』、名古屋芸術大学研究紀要、第33巻、2012年

杉淵洋一 SUGIBUCHI Yōichi

名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期
日本近代文学・比較文学・翻訳学

『〈草の葉会〉と〈ウィルソン倶楽部〉の有島武郎と鶴見祐輔』、『日本比較文学会東京支部研究報告』第7号、日本比較文学会東京支部編、2010年／『ヨーロッパ体験が開示する石川三四郎の人的ネットワーク』、『社会学』第33号、日本社会学会編、2011年／『有島武郎に潜む政治と外交』、『JunCture 超域的日本文化研究』第2号、名古屋大学大学院文学研究科日本近現代文化研究センター編、2011年。

坪井秀人 TSUBOI Hideto

名古屋大学大学院文学研究科
日本近代文学・文化史

『声の祝祭—日本近代詩と戦争』名古屋大学出版会、1997年／『感覚の近代—声・身体・表象』名古屋大学出版会、2006年／『性が語る—20世紀日本文学の性と身体』名古屋大学出版会、2012年

藤木秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院文学研究科
映像文化

『増殖するヘルソナ』名古屋大学出版会、2007年
Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan. Harvard University Asia Center, forthcoming.
『観客へのアプローチ』(編著) 森話社、2011年

秋庭史典 AKIBA Fuminori

名古屋大学大学院情報科学研究科
美学、芸術の哲学

“Can Pictures Be a Candidate for Knowledge Media?,” in *Intelligent Interactive Multimedia: Systems & Services*, SIST14, pp.97-105, Springer／『あたらしい美学をつくる』みすず書房、2011年／『実験と芸術研究』、『シンボルの修辞学』晶文社、2007年